



『山』(日本山岳会) 目録

自五〇一号〜至五五〇

論説・研究・随想

戦後最初の有志晩餐会 文無し山岳部員の帰京を支えた故宮崎重貞氏	望月達夫	五〇一
蘇武ヶ岳の見える墓	石坂久忠	五〇一
杉本誠氏の記事	西山秀夫	五〇一
深田久弥氏のコーナー「石川近代文学館」に完成	八木健三	五〇一
俳句・去年今年	小林碧郎	五〇一
日本アルプスの命名者について	田畑真一	五〇一
垂井町にある播隆上人名号軸	石坂久忠	五〇二
蔵書のゆくえ(上)―三人の図書委員長のこゝと	近藤信行	五〇三
エーデルワイスにひとこと	久合田弘	五〇三
五〇〇号座談会記事を読んで	望月計市	五〇三
ピッケルの渡来と製作(上)	広瀬 潔	五〇四
蔵書のゆくえ(下)―三人の図書委員長のこゝと	近藤信行	五〇四
スキー登山中の負傷者の搬送	四手井靖彦	五〇四
「米さん」のこと	小野 幸	五〇四
中屋健式さんの想い出	田口二郎	五〇四
ピッケルの渡来と製作(中)	広瀬 潔	五〇五
ピッケルの渡来と製作(下)	広瀬 潔	五〇六
敗戦直後の本会役員住所録	望月達夫	五〇六
伊藤秀五郎氏のスイスアルプス登山	岡沢祐吉	五〇六
モンブラン初登頂二〇〇年記念切手	各務良幸	五〇六
ウォルター・ウェストンの家系	垣内 茂	五〇七
木曾山脈と比良山系の地形の相似性について	石間信夫	五〇七
思い出	野口秋人	五〇七

ある生涯スキーヤーのこと―図書紹介にかえ	渡辺兵力	五〇七
現代登山の源流―ポニントンとメスナー	田口二郎	五〇八
俳句 白峰 北岳	小林碧郎	五〇八
回想	安彦六郎	五〇九
春の利尻山にて	高澤英雄	五〇九
月山	大橋克也	五〇九
ピッケルの渡来と製作(追記)	広瀬 潔	五一一
同右(注記)	平柳一郎	五一一
穂高月明	小林碧郎	五一一
この道、山と本とJACと	孫 慶錫	五一一
木暮碑次に重要資料	河野幾雄	五一一
日本アルプスの呼称	田畑真一	五一一
二つのアクシデント	鳥居 亮	五一一
焼山々行で見た標識と木地師	石坂久忠	五一一
俳句 野鳥十題	小林碧郎	五一一
「山案内人の手帳より」の地元スイスでの反響	松田雄一	五一一
若葉会山行西吾妻山五句	小林碧郎	五一一
木曾路・秩父路	川崎精雄	五一一
「街の子」の歌の系譜	横田敬一	五一一
短歌 丁岳・六月	大橋克也	五一一
俳句 檜ヶ岳	南秋草子	五一一
俳句 大雪にて	小林碧郎	五一一
亡き人のために	望月達夫	五一一
四十六年前の回想	山口一孝	五一一
宮崎県丸笹山考	渡部智俱人	五一一
ウツドシャフト・ピッケル二村のこと	安藤忠夫	五一一
安雲野とウェストン師	角田啓蔵	五一一
俳句 尾瀬晩雪	小林碧郎	五一一
短歌 尾山山・十月	大橋克也	五一一
俳句 晩秋の尾瀬山行	小林碧郎	五一一
ウツドシャフト・ピッケル二村のこと(下)	五一一	五一一

俳句 一ノ倉・尾瀬	安藤忠夫	五二二
針ノ木峠と横地石太郎	川崎精雄	五二二
木暮碑建設の年について	安江安宣	五二二
一枚の写真	望月達夫	五二二
山のバス停(詩)	中村テル	五二二
困難な登山をする者の危険と死との関係(1)	石田喜八	五二二
(スイス山岳会会報より) 沢田	五二二	五二二
見落とされていった福岡県の最高峰	岡沢 祐吉	五二二
困難な登山をする者の危険と死との関係(2)	武田満子	五二二
(スイス山岳会会報より) 沢田	五二二	五二二
困難な登山をする者の危険と死との関係(3)	小林碧郎	五二二
(ディ・アルペンより) 沢田	五二二	五二二
「日本の山岳標高」の発表について	岡沢 祐吉	五二二
登山の歴史そのまま(遺稿)	児玉 茂	五二二
腿にきました筋肉痛	片桐盛之助	五二二
短歌 大山 四月	柿原謙一	五二二
俳句 若葉会山行 大江山	大橋克也	五二二
馬場島にて	馬場島 也	五二二
小林碧郎	五二二	五二二
金峰山雜記	高田眞哉	五二二
詩・富士の雲	石田喜八	五二二
解禁された天山の名峰	田村俊介	五二二
還暦セーターのはなし	入澤郁夫	五二二
XCスキーのすすめ	田中幸子	五二二
短歌 仲秋の鹿島が岳縦走	大谷 優	五二二
ウェストンのオベリスク登頂年	田畑真一	五二二
マッキンリーの猛風	広瀬 潔	五二二
(短歌)加無山・十一月	大橋克也	五二二
私の山行「過去と未来と」	早乙女緩次	五二二
瑞牆山 五句	小林碧郎	五二二
会報「山」編集者の任を終えて	岡沢祐吉	五二二
山頂の茶屋は絶頂の茶屋だった	田畑真一	五二二
思いだすまま	藤平正夫	五二二
私の日本山岳会入会の動機について	高尾徳繁	五二二
「魔の山」とスキー	山口一孝	五二二
今日、この頃	小西政継	五二二

積さんからのお便り抄	小野 幸	五三七
ウェストンとオベリスク	田畑真一	五三七
(俳句)日和と山、物見山	小林碧郎	五三七
故秩父宮殿下ご愛用の品々	山田二郎	五三八
甲南の部内雜誌	福田泰次	五三八
三百名山への道	松田孝一	五三八
ウェストン旧蔵スライドに新事実	田畑真一	五三八
平成山の元旦登山	安藤忠夫	五三八
早発ち	深谷 泰	五三八
縦の会々員懐古	麻生武治	五三八
D・K・スコットのこと	板倉勝正	五三八
十二年目の再会と出会い	山田智子	五三八
シベリアの三角点	水野公男	五三八
(詩)二月の春	石田喜八	五三八
アイガー北壁登攀から二十五年	高田光政	五三八
「日本の山岳標高」第二次中間報告について	児玉 茂	五三八
二五〇〇以上の山	南川金一	五三八
武甲山三〇〇回挑戦中	茶本寿一	五三八
やはり、出頂の茶屋は絶頂の茶屋	田畑真一	五三八
短歌「登る朝」	大橋克也	五三八
国際山岳兵連盟について	(Y・M)	五三八
古い山日記(朝日新聞より)	五三八	五三八
日ソ合作映画「オーロラの下で」を見る	小倉 厚	五三八
山の回想	樋口宗一	五三八
和賀山魂を思う	三原洋子	五三八
(俳句)ウェストン祭の頃	小林碧郎	五三八
白山・乗鞍・御岳	柿原謙一	五三八
山旅の思い出	小田正男	五三八
山の画文集	沢 聰	五三八
二つの山の古道 その一	太田 敬	五三八
毎日新聞、八千峰「無酸素」登頂の報道記事に思う	中島道郎	五三八
二つの古道 その二	太田 敬	五三八
「オーロラの下で」を観て	中村純二	五三八
藤江画伯のネパール画集を鑑みて	辰沼廣吉	五三八
(短歌)立山・剣岳秋立ち	大谷優	五三八
続山の画文集	沢 聰	五三八
嘉門次小屋のカレンダー	柿原謙一	五三八

(俳句) 燕岳より常念岳へ 小林碧郎 五四七
 (短歌) 白頭山・鴨緑江一九九〇
 ユングフラウに登る加賀正太郎 五四七
 「スويس日記」のリングの木 岡沢祐吉 五四八
 久合田弘 五四八
 深田久弥の著書を蒐集して 高辻謙輔 五四八
 一九九一年早春雑詠 小田正夫 五四九
 遭難事故に対する警告(今冬の遭難について) 要望書) 日本山岳協会・日本山岳会 五四九
 故篠田氏に対する名誉会員取消請求問題について(含・参考資料) 五五〇
 同右 会員の声 五五〇
 名誉会員の諸問題 四手井靖彦 五五〇
 石岡高所安全研究所訪問記 遠藤京子 五五〇
 山田会長宛書簡 遠藤恵大 五五〇
 山田会長宛書簡 橋本一豊 五五〇
 山田会長宛書簡 笠井 篤 五五〇
 ナイロンザイル問題に関する見解 大島輝夫 五五〇
 支部長13年―その任を終えるにあたって― 尾上 昇 五五〇
 副支部長辞任の辯 篠田名誉会員就任について 中世古隆司 五五〇

海外通信

俳句 ハバロフスク初冬他 川崎精雄 五〇一
 アラスカの旅(下)―AACC元副会長の推薦コース― 中村テル 五〇一
 チョーチンと針(在台湾) 木村俊博 五〇三
 皇冠峰ベースキャンプにて―静岡大学西域学術登山隊― 近藤信行 五〇六
 富田健一氏より編集宛、コルチナダベンツにおいて 五〇七
 西蔵行 伊佐九三四郎 五〇八
 雁部貞夫氏より編集宛、チトラルにて 五〇八
 ミュレンよりゼフィネン・フルツゲ峠 坂倉登喜子 五一〇
 小倉由美子氏より中村テル氏宛(マラウにて) 五一〇

東トルキスタン、西トルキスタン 川崎精雄 五一一
 大姑娘登高―中国四川省の山に登る― 伊佐九三四郎 五一一
 長谷川恒男会員より編集宛、チョモランマ登山隊B.Cにて 木下是雄 五一八
 会員通信 五二一
 フィリスト・パツハゼーでヨードルと合唱の交換 坂倉登喜子 五二一
 海外山岳一〇〇〇登頂達成 脇坂順一 五二二
 剣沢から十字峽付近への初下降の記録 江上 康 五二二
 グラバニ峠の想い出 山本朋三郎 五二四
 ローランド・ルディン君からの手紙 麻生武治 五二四
 キリマンジャロ登山―長野県飯田高校山岳部OB会の場合― 伊藤 敦 五二五
 ナンガパルバットより 早坂敬二郎 五三〇
 山田昇隊の遭難に対しI・M・Fのサリン氏より弔意 五三〇
 シャモニーより 山田二郎 五三二
 Bangorにて 齊藤 晋 五三二
 Nanagarパルバットより(II)(III) 早坂敬二郎 五三二
 登山国際会議花盛かり リンジャニ山に登る 松永康子 五三二
 オーストリアのエーデルワイス 五三二
 中高年の玉山横断山行 坂倉登喜子 五三三
 スイスアルプス博物館オーブン(大森) 遠藤京子 五三四
 ポーランド国際山岳フィルム祭(大森) 五三四
 イタリ―山岳会山岳スキーラリーに参加要請状来る 五三五
 スイスのゴルフ場とスパーロカンススキー(Y・O) 五三七
 台北にて 山本朋三郎 五三八
 私のヒマラヤ メラ・ピーク 福田智恵子 五三九
 アドレイト便り 中村テル 五四一
 秀峰マカールを目指して(上)・(下) 五四一
 ADRAの活動に参加して 大西 宏 五四二
 モンブランより 藤井ほか 五四三
 ロンドンA・C・ルーム訪問記 富田健一 五四四
 (短歌) キリマンジャロ行 五四四

六十歳の八千び峰登頂記 伊佐九三四郎 五四四
 Aetideより 中島道郎 五四四
 スイスのエーデルワイスと十四回目の出会い 坂倉登喜子 五四五
 トルコの月の山 梅野淑子 五四六
 アルタイ山地の旅 木下是雄 五四六
 秘境プータン花紀行(1)・(2) 坂倉登喜子 五四七
 天山北路の話 織内信彦 五四九

国内通信

会津磐梯山大爆裂百年 遠藤明男 五〇一
 会員通信・広瀬潔氏 松田雄一 五〇一
 日本列島縦断徒歩の旅 中保 五〇二
 小山・福井コレクション(記念館)開館式にあたって 安田平八 五〇六
 秘境五家荘久連子の鷹巢山から積岩山を歩く 渡部智信 五〇六
 白馬登山 南秋草子 五〇八
 「三百名山」を完登して 前田中三郎 五〇九
 月山登山録 山形県酒田市 前田製管(嶺)山岳部 鈴木 聡 五一一
 秘峰・霞沢岳 坂倉登喜子 五二二
 還暦を迎えた雲取山荘 泉 久恵 五二二
 熟年短日低山行 中川喜久雄氏ほか36名 五二四
 会員通信特集(1) 中村一雄氏ほか48名 五二六
 会員・阪本公一氏より 五二六
 会員通信特集(2) 慶佐次盛一氏ほか22名 五二七
 残雪の徳本峠越え 坂倉登喜子 五三一
 黒部源流の秘境 高天ヶ原 夢の原 坂倉登喜子 五三二
 あづみ野ウエストン祭 田畑真一 五三三
 百四十七歳、トムラウシ山登頂 岡村治信・三ツ石清 五三三
 早池峰フォーラムに参加して 坂倉登喜子 五三三
 会員通信特集(1) 五三六
 会員通信特集(2) 五三七
 会員通信特集(3) 五三八
 会員通信特集(4) 五三九
 会員通信特集(5) 五四〇

八千び峰十四座完成 岡澤祐吉 五四一
 山田会長、富士山頂よりスキーで滑降 中川 武 五四二
 会員通信特集追加 五四二
 南アルプスの登山史を 田畑真一 五四三
 日本三百名山に登る 市川静子 五四八
 想いでの粟ヶ岳 樋口宗一 五四八
 年次晩餐会と記念山行に参加して 中井修二 五四八
 石間さん一五〇〇峰達成! 小倉 厚 五四九
 知床岳登山記(1) 田中三郎 五四九



一般図書

加納一郎著作集全五巻(北村泰一・堂本暁子・西堀栄三郎・樋口敬二・本多勝一編) 近藤信行 五〇一
 二つの追悼文集(加藤保男と吉野寛) 岩瀬皓祐 五〇一
 気象の事典(山の気象)(平凡社編) 大井正一 五〇一
 高尾山(アサヒタウンズ編) 関塚貞亨 五〇二
 シンポジウム ネパール(一九八五)(日本ネパール協会編) 高橋 詢 五〇三
 PERU ANDES '84(児玉茂著) 岡沢祐吉 五〇三
 Trekking in the Indian-Himalaya (by G. Wear) 児玉 茂 五〇五
 ほろびゆくブナの森(工藤父母道著) 大森久雄 五〇五
 松方三郎コレクション「浮世絵美人画名品展」カタログ 小野 幸 五〇五
 水源林の四季(畦倉実著) 大森久雄 五〇六
 穂高岳の岩場(クライミングジャーナル編集部編) 勝山康雄 五〇七
 魔頂(チョモランマ)今井通子著

<p>聖山巡礼(玉村和彦著) 南川金一 五〇七 ひとりぼっちの山歩き(佐古清隆著) 児玉茂 五〇七 黒部深谷(岩橋崇至写真集) 大森久雄 五〇七 とやまの山歩き(タウン情報とやま編・続・片雲往来(上村幹雄・通所編二著) 岡沢祐吉 五〇七 川内山とその周辺(笠原藤七著) 小倉厚 五〇七 「北越雪譜」英訳本 齊藤健治 五〇七 屋久杉が消えた谷(津田邦宏著) 関塚貞亨 五〇八 山頂へのみちーわが未踏峰探訪の旅(筑木力著) 小倉厚 五〇八 尾瀬は病んでいる(加藤久晴著) 蜂谷緑 五〇八 画文集 山麓紀行(橋本廣著)石坂久忠 五〇八 火山の一生 地球の歴史をさぐる②(松本佳夫著) 中村純二 五〇八 守れ権現(太田敬著) 河野幾雄 五〇八 中国辺境の旅(全八巻)(陳舜臣編著・解説) 泉 久恵 五〇九 イワナ・源流の職漁者(平野惣吉・山田亀太郎・並木晴政・平野守元述) 中川武 五〇九 低山逍遙(小林泰彦著) 細井澄子 五〇九 句集 雷鳥(小林碧郎著) 渡辺立男 五〇九 雲表のわが山々(岡田日郎著) 沢 聰 五〇九 雪国の四季と人間と(山村の博物誌)(高橋八十八著) 齊藤 桂 五〇九 天葬の国 高原の民(藤木高嶺著) 南井英弘 五一一 青空と輝く残雪の山々(山田哲郎・横山厚夫著) 松家 晋 五一一 木と人間の宇宙(I) 若葉萌えいつる山で(宇江敏勝著) 小倉厚 五一一 火山と地震の国(中村一明・松田時彦・守屋以智雄著) 藤田和夫 五一一 遙かなる揚子江源流(松本健夫・松原正毅編著) 児玉 茂 五一一 五能線沿線と白神山地の植物(工藤茂美著) 関塚貞亨 五一一 春ふたたび(山里寿男画集) 岡沢祐吉 五一一 僕はやっぱり山と人が好き(沢野ひとし対談集)</p>	<p>田中純夫 五一一 海流ののつてー僕と九つの島(本山賢司画文集) 細井澄子 五一一 物理・山・ことば(木下是雄著) 島田 巽 五一一 奥美濃 ヤブ山登山のすすめ(高木泰夫著) 安藤忠夫 五一一 日本200名山(深田クラブ著) 坂倉登喜子 五一一 山の心・道しるべ(久米津著) 岡沢祐吉 五一一 木と人間の宇宙(II) 青春を川に浮かべる(宇江敏勝著) 小倉厚 五一一 スイスー山案内人の手帳より(岡澤祐吉著) 田口二郎 五一一 ネパールの社会構造と政治経済(西澤憲一郎著) 齊藤健治 五一一 大分の山ー大分県主要山岳丘陵一覽(梅木秀徳著) 中村純二 五一一 栃木の沢(栃木県山岳連盟著)河野幾雄 五一一 ボクのザイル仲間たち(小西政継著) 小倉厚 五一一 わが白山連峯(長崎幸雄著) 石坂久忠 五一一 MOUNTAINERING IN THE ANDES-A SOURCE BOOK FOR CLIMBERS (JUL NEATE著) 南井英弘 五一一 画文集「仙山線から見える山々」(柴崎徹著) 佐々木豊喜 五一一 おおさか自然史ハイキング(地学団体研究会大阪支部編) 安藤忠夫 五一一 北陸の百山(朝日新聞 富山・金沢・福井支局編) 石坂久忠 五一一 日本の名峰 別巻 日本の名峰500(山と溪谷社編) 小倉厚 五一一 遙げき空に近ければーヒマラヤ日記ー(宮本周三著) 吉川尚郎 五一一 吾妻山に死す(片平六左著) 中嶋正夫 五一一 本多勝一氏の著書三冊 小倉董子 五一一 陽光讃歌(神谷平吉著) 西沢健一 五一一 世界の山稜(風見武秀写真集) 羽田栄治 五一一 一等三角点の山を歩く(山口ゆき子・横山隆・高柳生雄・川越はじめ・岡村美邦著) 川崎精雄 五一一 かぬか平の山々(日本山岳会岩手支部編) 望月達夫 五一一</p>	<p>白神山地二冊の木「白神山地に生きたる」(鎌田孝一著)「津軽白神山がたり」(根深誠著) 国尻利夫 五一一 雷鳥の尾根(梶安延著) 森 宏子 五一一 知床を考える(本多勝一編) 八木健三 五一一 空撮・世界の名峰(山田圭一 作品集) 牧 潤一 五一一 北海道自然一〇〇選紀行(朝日新聞社北海道支社報道部編) 高澤光雄 五一一 キャンプ指導の安全と健康管理(野間口英敏) 一志孝夫 五一一 森はいのち(宮脇昭著) 渡辺正臣 五一一 思い出の花(佐藤富美著) 中村あや 五一一 丹沢・桂秋山域の山の神々(佐藤芝明著) 高田真哉 五一一 東京大学教養講座15 森と文化(齊藤正彦編) 関塚貞亨 五一一 神々の遊ぶ庭(北海道自然保護協会編) 辻井達一 五一一 写真集「屋久島」(尾白明夫著) 羽賀克己 五一一 鈴鹿山地の雨乞(西尾寿一著) 安藤忠夫 五一一 平野長英「尾瀬に生きる」(平野紀子編) 蜂谷 緑 五一一 山人の賦III(志村俊司編) 小倉厚 五一一 蝶の学名(平嶋義宏著) 塚本珪一 五一一 日本の山(大久保雅弘・堀口万吉・松本健夫編著) 中村純二 五一一 黒部雪山(酒井国光著) 田中純夫 五一一 すぐ役立つ山の写真の撮り方(内田良平著) 広羽 清 五一一 郡上釣り(柴田勇治著) 中川 武 五一一 空撮日本の名峰(大森弘一郎著) 山本良三 五一一 神の森 森の神(岡谷公二著) 安藤忠夫 五一一 K₂ TRIMPH AND TRAGEDY BY JIM CURRAN 南井英弘 五一一 近江の山(木村至宏編) 高木泰夫 五一一 頂上の旗(原眞著) 浜口欣一 五一一 御嶽の信仰と登山の歴史(生駒勤七著) 伊佐九三四 五一一 北八ヶ岳の黒い森からーソフィア・ヒュッテ物語ー(千坂正郎著) 岡沢祐吉 五一一 新・日本百名山(山と溪谷社編) 小倉厚 五一一</p>	<p>大イワナの滝壺(白石勝彦著) 角田啓蔵 五二三 ひとりぼっちの日本百名山(佐古清隆著) 渡辺 徹 五二三 雲取山に生きたる(新井信太郎著) 岡沢祐吉 五二三 敷山山歴(望月達夫・岡田昭夫著) 山田哲郎 五二四 飛驒の山美濃の山(酒井昭市著) 安藤忠夫 五二四 「足尾山塊の山」「足尾山塊の沢」(岡田敏夫著) 川崎精雄 五二四 鏡の国のランニング(江本嘉伸著) 岡沢祐吉 五二四 縄文杉は訴える(三島昭男著) 松本健夫 五二五 双星の輝き(久保博司著) 小塩丘平 五二五 北海道の自然(淡交社編) 平野 明 五二五 大雪山(市根井孝悦写真集) 辻井達一 五二五 山岳技術考(金坂一郎遺稿集) 遺稿集編集委員会) 松永敏郎 五二五 画文集山旅素描(足立真一郎著) 川崎精雄 五二五 「森からの警告」畑正憲/C・W・ニコル対談集 近藤 緑 五二六 日本の山登り記(木南金太郎著) 横山厚夫 五二六 森林を蘇らせた日本人(牧野和春著) 妻倉 啓 五二六 旅がらすの山(富田弘平著) 坂倉登喜子 五二七 チベット・エベレスト・ネパール(鴨井信政著) 斎藤清明 五二七 極楽トンボ・ヒマラヤに眠る 水越英隆追悼集(水越久美子編) 河野幾雄 五二八 家族ハイイク・九州北部の山(足利武三・井上優共著) 中嶋正一 五二八 マンモスの山旅(高橋由美子著) 小塩丘平 五三〇 チベット曼荼羅の世界(色川大吉編) 庄司駒男 五三一 わが山行(鈴木盛彦著) 浜口欣一 五三一 日本の名峰(白旗史朗編) 高田真哉 五三一 とやま雪山あるき(橋本廣著) 齊藤健治 五三一 山岳飛翔(大森弘一郎著) 山田圭一 五三二 おじさんたちの冒険(木村幸治著) 関塚貞亨 五三二</p>
---	--	--	--

梶海新道その自然(小野健著) 田中純夫五三二
 画文集「道ひとすじ」(山里寿著) 河野幾雄 五三二
 ネパール研究ガイド文献目録補遺(稿)(秋山
 恭子・俱子編) 齊藤健治 五三二
 空からみる日本の火山(荒巻重雄・白尾天理
 ・長岡正利編) 式 正英 五三二
 石川の山(石川県山岳協会編) 田中純夫五三二
 天狗と修験者(宮本架梁雄著) 岡沢祐吉五三三
 阿蘇万歳(内野望著) 田上敏行 五三三
 裏山の博物誌(三宅修著) 中村太郎 五三三
 小坂の三角点(小坂町教育委員会編) 武田満子 五三三
 一等三角点の名山100(新ハイキング社編) 小倉 厚 五三四
 村井米子追悼集・川森左智子追悼集(日本山
 岳会婦人懇談会有志編) 近藤 緑 五三四
 長編山岳記録映画 わが山 常念山脈(中沢
 義直制作) 羽田栄治 五三五
 嶺捨山の文学(矢羽勝幸著) 宇津清斗 五三五
 『風の遐想 ヒマラヤ』ヒマラヤを釣る』
 (根深誠著) 高橋善教 五三六
 ヒマラヤ冒険家族(尾崎隆著) 中世古隆司 五三六
 鳥海考(須藤藤門著) 岩瀬皓祐 五三七
 雲の上の支配人(神恵明著) 岡沢祐吉 五三七
 『農学博士 竹内亮 業績と生涯研究資料抄』
 (村上 敏編) 望月達夫 五三八
 道南の自然を歩く(地学団体研究会道南班編) 辻井達一 五三八
 地上最強の登山家 山田昇(読売新聞社編) 大塚博美 五三九
 水壁に刻む(八木原昭明著) 大塚博美 五三九
 仲間と旅の思い出(二高旅行部統の会編) 望月達夫 五三九
 今西錦司―自然を求めて―(斎藤清明著) 岩坪五郎 五四〇
 火山と人間(南日本新聞火山取材班著) 式 正英 五四〇
 京都 北山百山(北山クラブ編) 岡田茂久 五四〇
 randa vi the tragic expedition (John
 Ros Kelley 著) 南井英弘 五四〇
 四季の山(沢 聰著) 小倉 厚 五四〇

崑崙行―雁部貞夫歌集―(雁部貞夫著) 伊佐九三郎 五四〇
 人間は自然を守れるか(岡部牧夫著) 松丸秀夫 五四〇
 森に新風が吹く日 里山をみつめて十年(井
 原俊一著) 松丸秀夫 五四〇
 コーポレート六十年・そして二十年―(コー
 ポルト六十年・そして二十年誌編集委員会編)
 菊地俊彦 五四〇
 ヒマラヤ ペダル越え(深町達也著) 笑って
 よ、北極点(和泉雅子著) 田口幸子 五四一
 中国・日本・ネパール一九八八年チョモラン
 マ/サガルマタ友好登山隊報告書(報告書編
 集委員会編) 小西政継 五四二
 樺林 私の山旅(笠原藤七著) 川崎精雄 五四二
 語らいの山々(上村幹雄著) 小倉 厚 五四三
 今西錦司―その人と思想(川喜田二郎監修)
 青雲の弥彦山(花井馨編著) 筑木 力 五四三
 秋田のハイキング(藤原優太郎編) 佐々木民秀 五四三
 山岳映画「西穂高歳時記」(ツカモト・プロ
 制作) 羽田栄治 五四三
 エーデルワイス・クラブ35年のあゆみ(坂倉
 登喜子編) 河野幾雄 五四四
 みなかみ(高力幸太郎著) 岡沢祐吉 五四四
 鈴鹿の山と谷4(西尾寿一著) 塚本圭一 五四四
 星はやさしく降る(長谷川昭一著) 五十嵐 力 五四四
 福井の山―150(増水油男著) 四手井靖彦 五四五
 Avalanche Safety for Skiers &
 Climbers (Tony Daffern 著) 松丸秀夫 五四五
 遙かなるチベットの 希夏邦馬峰登山 シンヤ
 パンマ8027m(愛知学院大学山岳会編) 泉 久恵 五四五
 山への挑戦―登山用具は語る―(堀田弘司著) 尾崎 進 五四五
 東北百名山(東北山岳写真家集団編) 佐々木豊喜 五四六
 山と嵐と(加藤達三著) 平林克敏 五四六
 マッキンリー山山岳隊極北の烈風に死す(遭難

対策本部編) 神長幹雄 五四六
 女の山歩き山登り(小倉蓮子著) 細井澄子 五四六
 ヒマラヤ 巨峰十四座と高峰(内田良平著) 羽田栄治 五四六
 京都北山を歩く(澤潔著) 坂井久光 五四七
 やまなみ登山 九重 日田玖珠 津江山系
 (日田登山倶楽部編) 伊藤博夫 五四七
 山岳年鑑'90(山と溪谷社編) 近藤雅晃 五四九
 女性のための百名山(坂倉登喜子編) 小倉 厚 五四九
海外訳本
 生きた、還った(R・メスナー著、横川文雄
 訳) 中田 茂 五一一
 マロリー追想(ダヴィッド・バイ著、杉田博
 現代の冒険(上)(クリス・ホニントン著、田
 口二郎・中村輝子訳) 木下是雄 五一四
 アラスカ原野行(ジョン・マクフィー著・越
 智道雄訳) 河野幾雄 五一四
 チベットの山(C・アレン著、宮持優訳) 高橋善教 五一六
 雪豹(P・マシーセン著、芹沢高志訳) 小倉 厚 五一七
 ロックス・アラウンド・ザ・ワールド(シ
 テファン・グロヴァッツ、ウー・ヴィースマ
 イアー共著、山と溪谷社訳) 網川祥夫 五一八
 オードリー・サルケド共著、田中昌太郎訳) 杉田 博 五三七
 南極点(R・アムンセン著、中田修訳) 宇都木慎一 五四八
海外雑誌・山岳団体情報等紹介
 報告書四冊 水壁のワンダーランド・福岡大
 学山岳会ナガバールK2遠征隊登頂記 高
 むを求めて・H.A.J. K2登山報告書、K7
 初登頂・東大スキー山岳部カラコルム登山
 山隊一九八四、CHIRINGチリン峰・七〇九〇
 m登攀と遭難の報告 児玉 茂 五〇八
 (第三十周年記念誌)熊本支部「もみじ会
 設立三十周年記念誌」静岡支部 岡沢祐吉 五一五
 『ヒマルチュリ』七八九三頁 日本大学ヒマ
 ルチュリ登山隊「東京農業大学 中国崑崙山

脈七一六七m峰登山隊 一九八六一 田中純夫 五一六
 ふみあと一〇号(三菱銅鉄株式会社山岳部) 佐藤 勉 五一八
 支部二十周年記念誌 スプリ(北海道支部編) 河野幾雄 五二一
 森林のなだれ防止機能(助林業科学技術振興
 所編集・新田隆三執筆) 武田満子 五二一
 天帝の峰に挑む 東チベット(神戸大学西蔵
 学術登山隊編) 宮下秀樹 五二二
 白鳳(第六号)(白鳳会編) 山村正光 五二五
 ナンガパルバット登山報告書 札幌山岳会
 越前谷幸平 THE AMERICAN ALPINE JOURNAL
 1988 南井英弘 五二七
 西望那連(福島高校山岳部OB会編) 中保 五二八
 THE HIMALAYAN JOURNAL 1986~1987 南井英弘 五三〇
 おいらく山岳会30周年記念号「山行手帖」増
 刊(おろく山岳会編) 小倉 厚 五三二
 HIMAL (HIMAL ASSOCIATES 編集発行) 南井英弘 五三三
 太平洋地域環境問題論考集(日本環境協会刊) 高遠 宏 五三四
 遙か久恋の峰(同志社大学カント峰登山隊編著
 薬師義美 五三四
 北岳のうた(明峰山岳会六十周年記念誌) 松家 晋 五三三
 マウンテン・ワールド全十九巻(スイス山岳
 研究財団編・吉沢(郎他監訳) 大島輝夫 五三三
 悠峰2号(悠峰山の会刊) 岩瀬皓祐 五三六
 Alpinismo Español en el Mundo (Jose Maria
 Azpiazu Aldalur 著) 市川佐江子 五三六
 RIMO (PETER HILLARY 著) 南井英弘 五三六
 越後山岳第八号(日本山岳会越後支部編) 筑木 力 五三七
 日本山岳会山陰支部創立四十周年記念号 山
 陰の百山(日本山岳会山陰支部編) 岡本康夫 五四〇
 Das grasse Clubhutenbuch (Die Hutten
 des Schweizer Alpen-Clubs) 近藤 等 五四二

会務報告

Mountaineering in India (by Capt. M.S. Kohli) 麻生由紀子 五〇二
 静岡大学西域学術登山隊報告書 一九八九 五〇二
 (静岡大学刊) 南井英弘 五四三
 HIGH ASIA AN ILLUSTRATED HISTORY OF THE 7000 METRE PEAKS (JUL NEATE 著) 南井英弘 五四四
 北大山岳部々報 13号 (北海道大学体育会山岳部編) 高澤光雄 五四五
 四光峰の風―チベットの白き頂に立つ― (大阪市立大学日中友好学術登山隊編) 大塚博美 五四七
 「越後山岳」(創刊号、第五号) 集成復刻版 (越後支部編) 小倉 厚 五四八
 会報第27号 (日本大山山岳部校門山岳会編) 岩瀬皓祐 五四八
 山想八号 (法政大学体育会山岳部編) 宇都木慎一 五四九

会議・委員会

会員総会

62年度会員総会予告 五〇二
 昭和六十二年年度通常総会―新副会長は村木潤次郎氏― 岡沢祐吉 五〇五
 通常総会での今西会長挨拶 五〇五
 昭和62年度除籍対象者名簿 五〇五
 昭和61年度収支計算書 五〇五
 昭和61年度貸借対照表 五〇五
 昭和61年度財産目録 五〇五
 昭和62年度予算書(案) 五〇五
 昭和61年度事業報告 五〇五
 昭和62年度事業計画(案) 五〇五
 昭和63年度通常総会 大塚副会長、三國友好登山の成功を報告 小倉 厚 五〇七
 昭和63年度除籍対象者 五〇七
 昭和62年度収支計算書 五〇七
 正味財産増減計算書 五〇七
 昭和62年度貸借対照表 五〇七
 昭和62年度財産目録 五〇七

年次晩餐会

年次晩餐会のお知らせ 総務委員会 五〇八
 昭和六十二年年度年次晩餐会―ご入会の浩宮さまもご出席―(会長挨拶・永年会員の発表・新入会員の紹介・浩宮さまのご挨拶・乾杯・三國友好登山隊員の紹介等) 松家 晋 五一二
 新永年会員紹介 五一二
 永年会員となった感想 五一二
 報告 年次晩餐会懇親山行 藤田礼子 五一二
 年次晩餐会のお知らせ 総務委員会 五一二
 昭和六十三年年度年次晩餐会―海外四氏が、名誉会員に― 高田眞哉 五三三
 名譽会員紹介・名譽会員となった感想 五三三
 新永年会員紹介・永年会員となった感想 五三三
 年次晩餐会(予告) 五三三
 平成元年度年次晩餐会 皇太子殿下もご出席―今西・篠田両氏が名誉会員に― 五三三

新名誉会員紹介 高田眞哉 五三三
 名誉会員となった感想 五三五
 新永年会員紹介 五三五
 永年会員となった感想 五三五
 '89年次晩餐会記念山行 佐々木民秀 五四〇
 年次晩餐会のお知らせ 五五四
 平成二年度年次晩餐会 昨年を大幅に上回る 五五七
 六百二十二人が出席 高田眞哉 五五七
 新永年会員紹介 五五七
 永年会員となった感想 五四七
理事会・評議員会 五〇一、五〇八、五二二、五三三、五三四、五三六、五三八、五四三、五四五、五四六、五四八、五四九
総務・資料委員会
 お知らせ・会員懇談会 さくらハイク 五〇一
 日本山岳会保管資料について(付・保管資料一覽表) 山岳博物館を考える会 五〇二
 大町山岳博物館保管資料(1)(2)表 五〇三
 新入会員オリエンテーションに参加して 五〇三
 小寺佳美 五〇三
 松本アルプス山岳館保管資料(1) 五〇四
 松本アルプス山岳館保管資料(3)表 五〇四
 秩父宮記念スポーツ博物館保管資料 五〇六
 日本山岳会受入資料(S.61・4・62・3) 五〇六
 松本アルプス山岳館保管資料(5) 五〇七
 会員懇談会 10月、11月お知らせ 五〇七
 会員懇談会のお知らせ 五〇八
 資料委員会の発足 五〇九
 報告 十月の会員懇談会「山の映画あれこれ」 五〇九
 総務委員会 南川金一 五一〇
 62年忘年会(会員懇談会) 五一二
 お知らせ 新入会員歓迎・新旧会員交流 さくらハイク(総務・集會共催) 五一三
 報告 さくらハイクの記 石田喜八 五一六
 女性の登山装備展示について(資料委員会) 坂倉登喜子 五一七
 三國友好登山成功記念ヒラヤ展のご案内 (資料委員会) 五一七
 小野幸さんを囲む会 田畑真一 五二二
 新入会員オリエンテーションのお知らせ 五二四

88年忘年会報告 総務・集會・婦懇共催 里見清子 五二四
 ショートスピーチ「山の今昔」 織内信彦 五二四
 新会員交歓・さくらハイクのお知らせ 五二五
 日本山岳会保管資料 資料委員会 五二七
 会員アンケート結果報告(1) 五二八
 報告 第十五回新入会員オリエンテーションの望月名譽会員の講演 南川 五二九
 平成元年度 さくらハイク「弘法山」 林 栄二 五二九
 会員アンケート結果報告(2) 五三〇
 会員アンケート結果報告(3) 五三二
 会員懇談会「新入会員の集い」のご案内 五三三
 会員アンケート結果報告(4) 五三三
 台湾の山岳協会を訪ねて 織田沢美知子 五三四
 新入会員オリエンテーション(お知らせ) 五三六
 新入会員及び新旧会員交流さくらハイク(お知らせ) 五三七
 オリエンテーション雑感 園山鋭一 五四〇
 さくらハイク 新井文男 五四〇
 三國登山隊公式報告書の発行 五四二
 会員懇談会 新入会員歓迎会 藤田礼子 五四六
 一九八九年資料受入報告(1)(2) 五四八
 一九八九年資料受入報告(3) 五四九
図書・フィルム委員会
 山岳映画の会のお知らせ フィルム委 五〇二
 62年度図書交換会のお知らせ 五〇五
 山岳映画の会(フィルム委) 中村純二 五〇六
 お知らせ 62年度図書交換会 五〇六
 第十五回山岳史懇談会(金山淳二・谷口現吉講師) 岩瀬皓祐 五〇七
 望月達夫名誉会員の寄贈図書 大森久雄 五〇七
 第24回この一本展目録―山崎安治氏所蔵和本― 五〇七
 山岳図書を語る 故・山崎安治氏「新稿」日 五〇七
 本登山史」講師近藤信行 大森久雄 五〇七
 お知らせ 山岳図書交換会開催五〇七・五〇八 五〇八
 お知らせ 山岳図書を語る夕べ 五〇八
 お願い「日本の山」紹介のスライドを 五〇九
 第二十回図書交換会 フィルム委員会 五〇九

お知らせ 第十六回山岳史懇談会

第19回山岳図書を語る夕べ 岡沢祐吉 五二二

第二十五回「この一本展」での展示図書について(I) 望月達夫 五二二

故武田久吉博士の富士山関係写真の整理を終えて 渡辺正臣 五二二

第二十五回「この一本展」での展示図書について(II) 望月達夫 五二三

山岳映画の会予告 フィルム委員会 五二四

望月達夫文庫目録(1) 望月達夫文庫目録(2)・(3) 五二四

お知らせ 映画会「厳冬のエベレスト」 望月達夫文庫目録(4)・(5) 五二五

お知らせ 63年図書交換会 五二六

お知らせ 図書交換会 五二七

講演会のお知らせ フィルム委員会 五二八

図書交換会のお知らせ 小山睦子 五二八

講演会のお知らせ フィルム委員会 五二九

織内信彦氏から山内ビッケルの寄贈 五二九

お知らせ 第一七回山岳史懇談会・第二〇回山岳図書を語る夕べ 五三〇

山岳図書を語る夕べ 五三〇

講演会「映像の変遷」フィルム委員会 五三〇

「フィルムからビデオテープ」へ フィルム委員会保管リスト(1) 五三九

日本山岳会フィルムライブラリーご利用について 五三九

第十八回山岳史懇談会 一橋大学山岳部の歩み 川合 周 五四〇

フィルム委員会保管リスト(2) 五四〇

第二一回「山岳図書を語る夕べ」 五四二

フィルム委員会保管リスト(追加分) 五四二

図書紹介の原稿について 五四四

お知らせ 古典山岳映画(ビデオ版) 鑑賞会 五四四

図書委員会の催し(1)第十九回山岳史懇談会(2)第二十二回山岳図書を語る夕べ(3)第二十九回この一本展のお知らせ 五四七

お知らせ 図書委員会の催し(1)第二十二回山岳図書を語る夕べ(2)第二十九回この一本展 五四八

お知らせ 第一二回若葉会山行 五〇一

第十回若葉会山行―苗場山―上野英世 五〇二

若葉会山行案内 集会委員会 五〇二

ニュージランド・国際キャンプ登山隊報告 五〇三

奥秩父若御子山(61年度さよなら山行) 婦人懇談会 松永康子 五〇五

ビール・パーティーのお知らせ 五〇五

ストリートキング教室(報告)早川瑠璃子 五〇六

87年ビールパーティーに参加して 前田文彦 五二〇

スキー懇談会のお知らせ(総務・集会共催) 五二〇

婦人懇談会、恒例の忘年会 高田眞哉 五二二

現地小集会―秋の鉢盛山― 白木正俊 五二三

お知らせ 若葉会山行 五二四

シヴァ登山隊のTシャツ 婦人懇談会 五二五

講演会のお知らせ 講師石間信夫氏 五二五

お知らせ JAC夏の恒例・ビアパーティー 五二七

お知らせ 集会委員会現地小集会 八十里越 五二八

谷川大源太山、四阿山、権現山 五二八

白神山域を探る山行報告―主催、婦人懇談会― 赤松光(付・詩 熊谷とも子) 五二九

深田クラブと婦懇有志で長澤和俊氏を囲む会 小塩丘平 五二九

お知らせ 晩秋の尾瀬山行 集会・自然保護委共催 五二九

忘年会のお知らせ 五二〇

二二〇〇回山行の石間信夫氏講演会 南川金一 五二〇

お知らせ 忘年会 総務・集会・婦懇共催 五二二

ビアパーティー(報告) 高澤佐恵子 五二二

現地小集会「吾妻耶山」お知らせ 五三二

ビアパーティー 里見清子 五三三

小林純子先生と鎌倉の山を歩く会 高橋実方 五三三

八方尾根スキー集会のお知らせ 五三三

現地小集会「大菩薩峠」のお知らせ 五三三

「集会委員会より二つのお知らせ」現地小集会「加波山」、囲炉りを囲んで新年を迎える会 五三三

女性会員全国集会のお知らせ 五三三

忘年会報告(総務、集会、婦懇共催) 五三六

尾瀬登山集会について(お知らせ) 黒石 恒 五三六

第十四回若葉会山行(お知らせ) 婦人懇談会 五三八

本社ケ丸懇親山行 集会委員会 五三八

現地小集会 上高地スケッチ山行のお知らせ 五四一

尾瀬全国集会の申込みは八月二十五日までです。 婦人懇談会 五四一

現地小集会「石間さんと山歩き」のお知らせ 五四一

JAC夏恒例ビアパーティー 五四一

初級岩登り講習会のお知らせ(指導委・集会共催) 五四三

現地小集会(生藤山)のお知らせ 五四四

マカロー、チヨロオユー報告会	網川祥夫	五四二
学生部よりお願い	川上 順	五四五
平成二年度山スキー講習会(お知らせ)		五四七
海外委員会		
お知らせ・連続講演会	中央アジアを探検した探検家列伝(5回)	五〇二
お知らせ・講演と映画の会		五〇四
お知らせ・カナダキャンプ		五〇四
報告 講演会「厳冬の白頭山を語る」	講師 高橋通子氏(青年懇共催)	五〇五
探検家列伝集中講座	鈴木郭之・黒沢亜規子	五〇六
ソ連国際キャンプのお知らせ	ソ連スポーツ委員会主催、パミール、コーカサス、チムブラック、アルタイ国際キャンプ一九八八年	五一〇
お知らせ	海外委主催の集会「にど・だもれ」(出版記念の会)	五二二
お知らせ	イタリア山岳会杯 第九回ヴァルフルヴァ国際山岳スキー・ラリー	五二二
にどだもれ(愛の菓)	元海外委員牧野文子追悼集	五二二
アイス・ウォーク一九八九年北極探検隊事務局からの礼状	海外委員会	五二六
中国で岩登り競技会(招待)	海外委員会	五二六
小川山初級岩登り講習会(指導・集会共催)	入澤郁夫	五四八
科学研究委員会		
報告・大気の発光現象	松丸秀夫	五〇一
火山についての講習会と探索山行のお知らせ		五〇二・五〇三・五〇四
シンポジウム予告「危険な動物と安全登山」		五〇五
フイーゲルのすすめ―講演と製作実演―	お知らせ	五〇五・五〇六
報告 危険な動物と安全な登山シンポジウム		五〇七・五〇八
報告 火山地形について	松丸秀夫	五〇八
お知らせ 科学研究委員会談話会		五〇八
報告 講演「フイーゲルのすすめ」と製作実		

演	松丸秀夫	五〇九
①談話会②シンポジウム「危険な動物と安全登山」のお知らせ		五一〇～五一三
お知らせ 談話会		五一三
お知らせ 談話会	高山植物	五一五
お知らせ 戸隠修験道の講演会と探索山行		五一五・五一六
シンポジウム「危険な動物と安全登山」		五一六
談話会の講演から	○東南アジアの薬草(山口一孝)○登山の行動科学・発想(千葉重美)	
○登山の行動科学・遭難シミュレーション(小山内正夫)	○山の航空写真あれこれ(大森弘一郎)	五一八
お知らせ 講演会		五二〇
お知らせ	チヨモランマ登頂時の気象講演会	五二二
チヨモランマの登頂時の気象	講演会報告	五二二
戸隠修験道の講演会と探索山行(報告)	中村純二	五二五
科学研究委員会シンポジウム(予告)	中村純二	五二六
科学研究委員会シンポジウムのお知らせ		五三〇
冬期マッキンリー登山と気象遭難講演会のお知らせ		五三三
温泉を科学する	石田要久	五三四・五三五
雨具をめぐるシンポジウム(1)中村純二		五三五
雨具をめぐるシンポジウム(2)中村純二		五三六
雨具をめぐるシンポジウム(3)中村純二		五三七
自然エネルギー利用のシンポジウム(お知らせ)		五三八
第二回雨衣のシンポジウム、探索山行のお知らせ		五三九
警司岩の講演会と探索山行のお知らせ		五四一
『登山用雨具シンポジウム』報告書のお知らせ		五四二
第二回登山用雨衣のシンポジウム(下着、肌着も含めて)のお知らせ		五四三
報告 冬期マッキンリーの登山と気象遭難(1)	中村純二	五四三
報告 冬期マッキンリーの登山と気象遭難(2)	中村純二	五四三
報告 冬期マッキンリーの登山と気象遭難(3)		五四四

お知らせ	中村純二	五四五
(予告) 山岳地域に於ける環境保全シンポジウム	中村純二	五四五
警司岩探索山行(1)	自然保護委共催	五四七
山岳地域における環境保全シンポジウムのお知らせ(科学・自然保護委共催)	中村純二	五四八
警司岩探索山行(2)	中村純二	五四九
高所登山・医療委員会		
お知らせ・講演会開催		五〇一
講演会報告	高所登山における自己管理について	五〇三
第七回日本登山医学シンポジウム開催お知らせ	浜口欣一	五〇三
第七回日本登山医学シンポジウム報告	浜口欣一	五〇八
お知らせ	シンポジウム(高所)	五〇九
お知らせ	講演会(集会委共催)	五一〇
報告	シンポジウム「チヨモランマ登山に於ける高所の問題」	五一二
お知らせ	講演会「登山と水分補給(集会共催)」	五一二
お知らせ	第八回日本登山医学シンポジウム	五一二
「登山と水分補給について」講演会報告	浜口欣一	五一四
お知らせ	講演会「初めてのヒマラヤ」	五一四
お知らせ	講演会「初めてのヒマラヤ」講師 沢野公氏	五一五
日本登山医学シンポジウム	浜口欣一	五一八
講演会「初めてのヒマラヤ」	松永敏郎	五一八
講演会「日常のトレーニング効果から、高山病の予防まで」のお知らせ	集会委共催	五二四
シンポジウム「三回登山のタクティクスを振り返る」のお知らせ		五二五
講演会報告	日常のトレーニング効果から高山病の予防まで	五二七
第六回国際低酸素症シンポジウムに参加して	中島道郎	五二八
第十回日本登山医学シンポジウムのお知らせ		五四〇
海外登山基金委員会発足の経緯	西村正晃	五三三
「海外登山基金」による登山計画募集		五三五

第七回国際低酸素症シンポジウムのお知らせ	中島道郎	五四二
海外登山基金の交付について		五四二
第二回「海外登山基金」助成登山計画募集	海外登山基金委員会	五四三
平成二年度第二回海外登山基金委員会		五四九
ルーム日誌	五〇一～五四九	
会員異動	五〇一～五四九	
会員名簿訂正	五二四、五四八	
図書受入報告	五〇三、五〇五～五〇七、五〇九、五一四、五二〇～五二二、五二六、五二八、五三二～五三三、五三三～五三九、五四二～五四六、平成二年度定期刊行物受入報告五四七	
復活・新入会員(表)	五〇一～五四九	
住所・住居表示変更(表)	五〇一～五二二、七、五二九	
タンポチエ僧院関係		
タンポチエ僧院再建協力のお願い	山田二郎	五三〇、五三一
タンポチエ僧院再建協力募金者ご芳名		五三二、五三三～五三九
タンポチエ僧院再建募金海外状況	エドモンド・ヒラリー	五三三
「タンポチエ僧院再建募金」最後のお知らせ	高所登山委員会	五四五
その他事務局関係		
山岳と会報バックナンバーの販売について		五〇一
事務局より(山合本、ファックス、コピー使用料)		五〇一
会報へのご寄稿	会報編集委員会	五〇一
日本山岳会「会報」合本会員特別領布について		五〇二
会報用原稿募集について		五〇二
山岳と会報バックナンバー販売終了通知		五〇二
ヒマラヤン・クラブの紹介	大塚博美	五〇四

OA委員会からお願い 松田雄一 五〇四
図書室の利用と現状について 兒玉茂 五〇四
戦前の「山と溪谷」についてのお願い 五〇五
観光週間(八月一日〜七日)の目的 五〇五
外苑コーポのルーム写真提供方お願い 五〇七
お知らせ 高輪プリンスホテル 五〇七
「三國友好登山隊記念Tシャツ」の頒布 五〇七
観光週間(八月一日〜七日)の目的 五〇七
総務委員会 五一七
会員名簿発行についてお願い 五一七
「山日記」休刊のお知らせ 山日記編集委員会 五一八
観光週間(八月一日〜七日)総務委員会 五二九
英国山岳会移転 (Y・M) 五三九
カラコラム二五万分の一の新地図 五四〇
第二十六回観光週間の目的 (依頼) 五四一
山岳遭難事故の防止について 富山県 五四一
マップモニター募集のお知らせ 五四一
映画「オーロラの下で」招待券のお知らせ 五四一
テレホンサービス、会員懇談会のお知らせ 五四一
名簿発行についてお願いします 総務委員会 五四二
会員領布オリジナル製品リスト、オリジナルTシャツ特別頒布のお知らせ 総務委員会 五四四

〇自然保護
知床森林問題の賢明な解決を 八木健三 五〇二
京都支部だより自然保護集会 横田明男 五〇二
報告 双六谷上流地域の国立公園編入の要望 (付・要望書) 関塚貞亨 五〇三
九州にアケボノツツジを訪ねて 中村純二 五〇七
自然保護全国集会是は11月14〜15日東京で五〇七
「森林保護」への提言 自然保護全国集会 五〇七
「森林保護」への提言 自然保護全国集会 五〇七
「森林保護」への提言を採択 第十三回自然保護全国集会を開催 関塚貞亨 五〇七
三浦富士で新春自然観察山行 小倉厚 五二二
北八甲田山ロープウェイ建設計画をめぐって 八木健三 五二二

自然保護委員会より 国見利夫 五二三
随想 自然は子孫から借りている 五二三
屋久島の縄文杉は今? 羽賀克己 五二四
自然保護全国集会是は九月三〜四日 上高地で開催 五二八
「山岳地域における大規模開発と自然保護」をテーマに 63年度自然保護委・全国集会 二つのロープウェイ計画 自然保護委員会 五二〇
日だまり山行のお知らせ 横山 隆 五二二
晩秋の尾瀬山行報告 山口悠紀子 五二六
奥武蔵日だまり山行 山口悠紀子 五二六
自然観察山行「宮ヶ瀬ビジターセンター」と春木山 山口悠紀子 五二六
講演会(講師・渡辺兵力氏)のお知らせ 五二六
昨今の異常気象と高山植物 白旗史朗 五二八
自然保護全国集会予告 渡辺兵力氏の講演会「自然保護考」報告 五二九
自然保護全国集会(お知らせ) 横山 隆 五三〇
九州・奥祖母山地とツキノワグマ 松本健夫 五三二
平成元年度自然保護委・全国集会「一緒に歩いて山の環境保全を考えよう」をテーマに

要望書 冬季五輪競技コースを岩菅山山城域以外の県内既存施設の改修により実施すべきことに関する要望書 五三三
自然保護講演会のお知らせ 藤平副会長 五三三
高齢化社会のリゾート計画など 関塚貞亨 五三八
自然保護講演会 山口一孝 五三八
奥多摩・自然保護パトロール 市倉金蔵 五三九
自然観察山行のお知らせ 五三九
ニューデリー出張報告 山田二郎 五四〇
南極の山の清掃登山 (Y・M) 五四一
予告 自然保護全国集会 二四一、五四二

富士山の自然観察山行 村木副会長 五四二
環境危機に山岳会の対応は如何 村木副会長 五四三
自然保護講演会 関塚貞亨 五四三
自然保護委員会から 中村あや、中村純二、本多勝一、木名瀬亘、横山隆 五四五
村木副会長「自然保護講演会」についての紙上討論(第一回) 自然保護委員会 五四六
尾瀬問題の解決のために 自然保護委員会 五四六
HATJ発会式 北村節子 五四七
お知らせ 自然観察山行 五四八

〇自然保護随想
米國製のコーラの缶から スキーツアーについて 関塚貞亨 五二四
林道の終点で やせゼンマイ 小倉 厚 五二七
秋田杉とブナ林 関塚貞亨 五二八
ネイチャーゲーム 遠藤光男 五二八
白い尾瀬 渡辺正臣 五二二
イエローストンの山火事 関塚貞亨 五二二
登山のマナーについて 関塚貞亨 五二二
建物の外側はだれのものか 小倉 厚 五二五
廃墟のロマン 関塚貞亨 五二六
欧州の異常気象と環境問題 関塚貞亨 五二七
美しい地球をよごさないで 関塚貞亨 五二七
縄文杉を見に 山口悠紀子 五二八
小径 武田満子 五二二
追良瀬行に想う 中村あや 五二二
登山道は、今 齊藤 桂 五二二
負のフィードバックと正のフィードバック 澤井政信 五二六
大山の山頂から カモンカか人間か 小西 毅 五二七
アメリカの二人の自然保護主義者 梅木秀徳 五二八
アメリケの二人の自然保護主義者 美倉 啓 五三九
上高地ダム 松久秀夫 五四〇
一寸臭い話 ねぼけまなこの浦島太郎 奥秩父・富士・尾瀬をめぐらる問題 五四一
奥秩父・富士・尾瀬をめぐらる問題 木名瀬亘 五四二
ヨーロッパの旅より 大野道治 五四三
中高年登山者とフィールドマナー 山口俊輔 五四四

カミさんの話 小西奎二 五四五
自然保護とマスコミ 梨羽時春 五四六
アニマル・トレッキング 市川義輝 五四七
美しい風景を守りたい 藤井 健 五四九

〇上高地山岳研究所
上高地山研開所(お知らせ) 五〇二
日本山岳会高郷山荘(どうぞ) 五一〇
上高地山研開所(お知らせ) 五一三
日本山岳会高郷山荘(どうぞ) 五一四
山研委からの報告とお願い 五二二
日本山岳会高郷山荘(どうぞ) 五二二
山研を考へる集い「報告」石橋正美 五二七
「山研」を考へる集い「報告」石橋正美 五二七
山研改築委員会の発足について(石橋) 五三三
上高地山岳研究所改築案について 山研改築委員会 五四九

催し物
報告・三水会現地集会 滑志田隆 五〇一
お知らせ・石井鶴三展「誕生百年記念」五〇二
日本山岳会後援 山岳写真の源流展開催のお知らせ 五〇三
日本山岳協会本年度展開催案内 五〇四
ナパール神々と舞踏劇展案内 五〇四
「黒部」―岩橋崇至写真展―お知らせ 五〇五
吉田博・木版画展 大森久雄 五〇五
「山岳写真の源流展」を見る 望月達夫 五〇七
蜂谷緑さんの出版記念会 (OH) 五〇七
第二十九回有志懇談会 川崎精雄 五〇八
三水会小林さん、勝田さんの出版記念の集いを開く 高田真哉 五〇九
藤江幾太郎・チャリティ展お知らせ 五〇九
三水会現地集会報告 奥秩父・小川山 五二一
横浜ウェストン記念祭へのお願い 遠田 栄 五二二
三水会新年現地集会 木村 五二二
第十三回丹水会報告 岩堀瑞子 五二二
三水会竹寺山行 小野利次 五二四
三水会・二百回例会記念で 陣馬山山行 高田真哉 五二六
お知らせ 日本山岳協会88年度展 五二六
ウェストン来日百周年記念 横浜ウェストン記念祭開催 関塚貞亨 五二八

三水会で中保さんの出版を祝う集い	高田真哉	五二〇
お知らせ 藤江幾太郎・ネパールスケッチ展		五二二
三水会現地集會 アンコロ餅と菓湯の集い	平戸孝夫	五二二
三水会、エーデルワイス・クラブ合同第八回 現地集會報告 男山・天狗山 遠田栄	五二四	
渡辺正臣さんのガイドブック出版五百万部を 祝う会 (関塚)	五二四	
三水会恒例の新年山行(金ヶ嶽)	岡野 修	五二五
「フオスコ・マライーニ写真展」—今夏、豊 田市で開催—	杉本 誠	五二六
日本山岳画協会・本年度展御案内		五二七・五二八
山里寿男原画展・後藤三男油絵展のお知らせ		五二八
三水会 高尾山で懇親山行 小林 碧	五三〇	
マライーニ氏の写真展開催		五三〇
第31回有志閑談会 (岡塚)	五三一	
三水会現地集會報告 田久保勇治	五三三	
お知らせ 山里寿男個展、山の絵「三人展」 後藤三男油絵展	五三三	
山岳空撮、トリノで個展と国際写真展開催	山田圭一	五三四
三水会例会行 秋の瑞牆山 小林 碧	五三七	
後藤三男油絵展お知らせ		五三七
「雲の中のチベット」出版を祝う	木之下繁	五三六
土曜会・今昔 坂倉登喜子	五三七	
三水会新年山行 吉武玲子	五三七	
松田敏男山岳画展(お知らせ)		五三八
藤江幾太郎・山の画展 第三十五年記念展 (お知らせ)		五三八
「安曇野山岳美術館」より		五三九
写真と地図で見る日本の山岳展のお知らせ		五三九
新生「土曜会」発足す。 河野幾雄	五四〇	
第10回チエコ山岳映画祭のお知らせ		五四一
名誉会員懇談会 (Y・M)		五四一
国際シンポジウムのお知らせ		五四二
田部重治文学碑の除幕 (Y・M)		五四二

泉久恵会員の出版記念会 岡澤祐吉	五四二
マナリ国際トレッキング集會 (Y・M)	五四二
第二回親不知ウェストン祭 小野 健	五四三
アンナブルナ登頂四十周年に参加して(舎・ マッチ・ド・オー)の受賞者紹介 (Y・M)	五四三
山の絵三人展のご案内 日下田実	五四四
国際シンポジウム報告 (Y・M)	五四四
シンポジウムが 小倉 厚	五四五
日山協との懇談会 (Y・M)	五四六
三水会創立十五周年 記念祝賀会と記念山行	五四六
中保、坂倉登喜子	五四六
後藤三男油絵展お知らせ	五四六
西丸震哉・真美山岳油彩小品二人展(最終回) お知らせ	五四六
三水会現地集會 秩父・観音山と城峰山 平戸孝夫	五四九
第10回深田祭へのお誘い	五四九

支部情報



信濃支部創立四〇周年記念山行 中野和郎	五〇一
木暮理太郎翁碑前懇親会の報告と予告	五〇二
熊本支部新年晩餐会 田上敏行	五〇二
真狩スキー合宿 北海道支部 平野明	五〇二
東北地区例会のご案内 岩手支部	五〇二
第41回 ウェストン祭のご案内 信濃支部	五〇三
京都支部だより—比良・蛇谷ヶ峰スキー行	五〇四
第30回(最終回)もみじ会の御案内 杉山イタル	五〇四
八ヶ峰へ記念山行 京都支部 高島法男	五〇五
秋田支部総会報告 佐々木民秀	五〇五
岩手支部行事報告 かぬか平例会山行 第5	五〇五
回東北地区集會 支部総会 佐藤敏彦	五〇五
北海道支部総会 平野 明	五〇五
昭和六十二年度地方ブロック懇談会予告	五〇五
第四十一回ウェストン祭 信濃支部	五〇五
第四十一回ウェストン祭 角田啓蔵・田中弘美	五〇六
第四十一回ウェストン祭に参じて 柿原謙一	五〇六
四十一回ウェストン祭—梓河畔に歌い続けて 三十年— 坂倉登喜子	五〇六
お知らせ 昭和六十二年度地方ブロック懇親 会京都大会 京都支部	五〇六
旭岳スキー対決の記 石崎貞子	五〇六
第一回京都支部・岐阜支部合同大会 佐藤正雄	五〇六
静岡支部報告(総会ほか) 安間 荘	五〇六
熊本支部総会 田上敏行	五〇六
狩場山支部山行 北海道支部 平野明	五〇七
熊本支部設立三十周年記念集會開催のご案内	五〇八
福岡支部より(多良岳登山) 深田泰三	五〇八
福岡支部近況 秋田支部 佐々木民秀	五〇九
東鳥海山々行報告 田上敏行	五〇九
熊本支部夏季例会 山陰支部	五〇九
支部便り 静岡支部	五〇九
第三十回紅葉会(最終回) 永野敏夫	五一〇
蝦夷お月見会 北海道支部 平野 明	五一〇
岩手支部秋の例会報告 佐藤敏彦	五一〇
京都集會で忘れ物 京都支部	五一〇
報告 京都集會に百五十人 四手井靖彦	五一〇
多良岳山行 福岡支部 深田泰三	五一〇
秋の親睦登山会 越後支部 山田 勲	五一〇
支部事務局担当者集會 石橋正美	五一二
北海道支部忘年会 平野 明	五一二

創立三十周年記念集會 熊本支部 田上敏行	五一三
岩手支部通信 63年度行事その他 佐藤敏彦	五一三
木暮理太郎翁碑前懇親会の報告と予告 山村正光	五一四
秋山々行報告 秋田支部 佐々木民秀	五一四
支部だより北海道支部 平野 明	五一四
〈予告〉昭和63年度地方ブロック懇談会 お知らせ 北海道支部	五一四
お知らせ 越後支部懇親登山 北海道支部	五一四
報告 九州四支部連絡集會開催について 深田泰三	五一五
お知らせ 日本山岳会一九八八大雪の集い 北海道支部	五一五
越後支部懇親会登山(巻機山)のお誘い 第四十二回ウェストン祭のお知らせ 信濃支部	五一五
行事報告(支部総会その他) 熊本支部	五一七
第四十二回ウェストン祭 三溝潤次郎	五一八
越後支部懇親山行報告 坂井 厚	五一八
北海道支部総会 平野 明	五一八
秋田支部総会報告 東海支部報告	五一八
北海道支部報告 福岡支部報告	五一八
福岡支部だより 深田泰三	五一八
お知らせ 東北ブロック集會 秋田支部	五一九
親不知にウェストン像が建つ 小野 健	五二〇
支部だより 福岡支部	五二〇
大雪の集い88 北海道 平野 明	五二〇
(創立30周年記念行事) ヒンスクシュ眞只 中の旅 福岡支部	五二一
蝦夷お月見会 北海道支部 平野明	五二一
東北ブロック「秋田のつどい」 岡沢祐吉・福田文二	五二二
北海道支部忘年会 平野 明	五二四
第二十六回木暮理太郎碑前懇親会報告と次回予 告 山村正光	五二四
第二十七回木暮祭 碑前懇親会お知らせ 五二四	
越後支部親睦登山会(未丈ヶ岳)のお知らせ 五二六	
東北ブロック懇談会 船形山登山のお知らせ 五二七	
報告 ニセコスキーバス 北海道支部	五二七

越後支部親睦登山会	未丈ヶ岳へのお誘い	五二七
報告 本年度地方ブロック懇談会を山陰支部で開催	(長田)	五二八
熊本支部 総会報告	田上敏行	五三〇
静岡支部 平成元年度総会開催報告	西郷正郎	五三〇
第四十三回ウエスタン祭報告	信濃支部	五三〇
青木保良		五三〇
岐阜・京都両支部合同懇親登山	佐藤正雄	五三〇
全国支部懇談会山陰集会の案内	五三〇・五三一	
未丈ヶ岳親睦登山会	越後支部	五三一
女性会員懇親山行会(伊吹山)	本望英紀	五三一
関西両支部共催 小寺佳美、鶴田佐和子、原田衛		五三一
熊本支部夏季例会	田上敏行	五三二
蝦夷お月見会	平野明	五三二
全国支部懇談会「89伯耆大山の集い」	長田健三	五三三
支部事務局担当者会議報告	(松田)	五三三
北海道夏山行「利尻・日高」	水科行雄	五三三
熊本支部秋季例会	田上敏行	五三五
故古市義孝氏追悼集会	福島支部	五三五
支部長会議	大友繁	五三六
羽衣のお餅(関西支部)	宗實慶子	五三六
第一回藤木祭開催(関西支部)	桑田結	五三七
関西支部五十年史の発行について		五三七
第二七回木暮理太郎翁碑前懇親会報告と次回の予告	金井良碩	五三七
山形正光		五三七
海谷山塊 駒ヶ岳親睦登山会のご案内	越後支部	五三九
秋田支部総会・山行報告	佐々木民秀	五四一
福岡支部より	深田泰三	五四一
熊本支部総会報告	田上敏行	五四一
支部長・支部事務担当者合同会議		五四一
新支部長紹介		五四一
日本山岳会「90蔵王の集い」お知らせ	山形支部	五四二
越後支部親睦登山会	海谷山塊・駒ヶ岳	五四二

東九州支部創立三十周年記念、由布岳の集いのお知らせ	上村幹雄	五四二
北海道初夏山行 道南(狩場山)	水科行雄	五四三
西川一三氏出版記念講演の夕べ(お知らせ)	岩手支部	五四三
ウエスタン祭四十周年の回顧(上)	坂倉登喜子	五四三
ウエスタン祭四十周年の回顧(下)	坂倉登喜子	五四三
坂倉登喜子		五四四
宮城支部・90沢登り登山会 佐々木豊喜	五四四	
第六回宮崎ウエスタン祭のお知らせ	五四四	
平成二年度全国支部懇談会山形集会「90蔵王の集い」	梅津博	五四六
支部創立三〇周年記念「由布岳の集い」	東九州支部	五四六
宮崎ウエスタン祭	宮崎支部	五四六
北海道初秋山行・お月見集会	水科行雄	五四六
熊本支部秋季例会	田上敏行	五四七
北海道初冬山行 札幌近郊定山溪小天狗岳	水科行雄	五四七
支部長会議		五四七
支部事務局担当者会議		五四七
岐阜支部設立二十周年記念山行のお知らせ	五四八・五四九	
越後支部年次晩餐会	本望英紀	五四九
「山陰の百山」が鳥取県出版文化賞に輝く	編集部	五四九

人事往来

一般記事

晩餐会の返信用はがきに寄せられた会員の近況紹介	総務委員会	五二一・五二三
会報編集委員の一部交代	会報委員会	五二二
ヒューバート・A・カーター氏来日	海外委員会	五二五
「62年度新入会員メッセージ」より		五二五
新入会員オリエンテーションに参加して		五二六
H・アダムス・カーター氏を迎えて	吉田宏	五二九

インド登山財団会長H・C・サリンさん	伏見紀子	五二四
リカルド・カシン SAC名誉会員に	(編集)	五二四
サムエル・ブラヴァント氏より会長宛に礼状		五二五
ヒマラヤン・クラブ名誉会員に三田・西堀両氏を推挙	(YN)	五二六
新役員交歓会	山田二郎	五三〇
会長就任に当たって	文責・松田	五三一
平成元年各担当理事の運営方針について(1)		五三一
平成元年度各委員会の委員名簿(1)		五三一
故横有恒名誉会員に対する叙位		五三一
故山田昇会員にたいする大臣表彰		五三一
ヒマラヤのフィルム金賞に輝く		五三一
平成元年各担当理事の運営方針について(2)		五三二
委員の委嘱について		五三二
平成元年度各委員会の委員名簿(2)		五三二
ネパール人ジャーナリスト二氏が来日	西村政晃	五三三
秋の叙勲 中尾佐助氏		五三三
藍綬褒章授章 杉原八百樹氏		五三三
山本朋三郎氏体育功労賞受賞(Y・M)		五三三
モンゴルからのお客様	松田柳子	五三七
訃報・追悼		
英国山岳会会長急逝	渡辺兵力	五〇三
故中屋健次会員を偲ぶ	中村弘	五〇三
故野四子吉氏を悼む	南井英弘	五〇三
故片山金平氏の遺灰ヒマラヤへ	中村太郎	五〇四
名誉会員 辻荘一さんを追悼して	松田雄一	五〇四
河本清氏(会員番号四〇六番)	島田 巽	五〇六
オアデルさんを悼む	中村太郎	五〇六
牛窪浩さんの急逝を悼む	山田二郎	五二二
追悼 加藤喜一郎さん		五二二
山崎金次郎さんの急逝を悼む	名児耶達男	五二三
訃報 清田清氏	松田雄一	五二三
訃報 桑原武夫氏	編集	五二四
訃報 桑原さん追想	藤平正夫	五二四
追悼 谷博さん	四手井靖彦	五二六

茶谷先輩を偲ぶ	岡村治信	五一六
川森左智子さんのこと	山口純子	五一七
永年会員小池文雄さん	望月達夫	五一七
「ボンゴ」さん(奥貞雄氏)を偲ぶ	長谷川清三郎	五一八
大島永明先輩を偲ぶ	中村純二	五一九
森谷周野君のこと	小野幸	五一九
竹節さんのこと	中村太郎	五二〇
浜野正男さんを悼む	佐藤一栄	五二〇
斉藤平七氏	中村太郎	五二〇
山縣一雄さんを悼む	中村太郎	五二〇
藤島先生を悼む	中村太郎	五二〇
高橋定昌さんを悼む	中村太郎	五二〇
小島準太郎さんを偲ぶ	中村太郎	五二〇
武田久吉未亡人	中村太郎	五二〇
片桐盛之助氏を偲ぶ	中村太郎	五二〇
訃報 横 有恒氏	総務委員会	五二九
追悼 西堀栄三郎元会長を偲ぶ	齊藤博生	五二九
追悼 山田昇会員「引き返す勇氣」を言いながら	八木原昭明	五二九
追悼 横有恒氏	山田二郎	五三〇
横有恒氏の日本山岳会葬	岡田祐吉	五三〇
横さんの御葬儀のいきさつ	村木潤次郎	五三〇
新入員会員の死を悼む	権藤太郎	五三一
追悼 森 喬	(Y・M)	五三二
岡茂雄さんのこと	丸山尚一	五三二
追悼 元会員大飼哲夫氏	(Y・M)	五三三
訃報 鄭在泓	(M)	五三三
松方、西堀両先輩との出会い	齊藤健治	五三三
横先生を偲ぶ	月原俊二	五三三
野口秋人氏追悼	梅木秀徳	五三四
追悼 元会員田辺主計氏	望月達夫	五三四
古市義孝評議員を偲んで	中嶋正夫	五三五
訃報 小原勝郎	藤平正夫	五三七
追悼 佐伯富男君の死	織内信彦	五四三
神津得一郎氏	Y・M	五四四
追悼 後藤幹次氏	清野 恒	五四六
追悼 篠田軍治氏	村木潤次郎	五四六
照さんの思い出	山本朋三郎	五四六
伴野 清さんを悼む	麻生武治	五四七
訃報 清野清氏(会員番号二八四番)		五四七
今は亡き百瀬舜太郎氏を偲ぶ	孫慶錫	五四八

訃報 初見一雄氏、沼倉寛二郎氏、相沢裕文氏 (Y・M) 五〇九

海外登山情報

〇一般

ポーランド隊のアンナブルナ冬期登頂 海外委員会 五〇六
 パキスタンのトレッキング規則・付トレッキングコース 海外委員会 五〇八
 プータン最高峰の表記法について(上) 糸永正之 五〇九
 プータンの登山閉鎖及び規制 糸永正之 五〇九
 プータン最高峰の表記法について(下) 糸永正之 五〇九
 カナダ山岳会キャンプ参加の報告 原謙二 五一一
 チョゴリザ頂上の人形 平井一正 五一四
 アルプス・20世紀、前半と後半 近藤等 五一六
 UIAA、国際山岳クリン・デイ設定その他3件(海外トピックス) 海外委員会 五一八
 '88年、アルプス夏便り 大森久雄 五二〇
 日中合同登山隊のチェルノ山登頂とその意義 平井一正 五二二
 SACの悩み J・T 五二二
 海外あれこれ 中村テル 五二二
 モンゴルの山について 田部井淳子 五二二
 カトマンズクラブエベレスト登山隊概要 大西宏 五三六
 スマトラ・クリンチ山へ 兒玉茂 五四三
 第一回「海外登山基金」助成登山隊報告(1)日中友好天山山脈雪蓮峰登山隊一九九〇 隊長 徳島和男 五四五
 第一回「海外登山基金」助成登山隊報告(2)日本山岳会第一次パミール登山隊一九九〇 大谷亮 五四七

〇海外の山(江本嘉伸)

「新機軸」について 五〇一
 山の底 五〇二
 歩くことの恐怖 五〇三
 モンゴル人のエウレスト 五〇四
 ソ連隊のカンチ縦走計画 五〇五

ヘンティーの山 五〇七
 あと五百メートル 五〇八
 八千メートルに挑む女性たち 五〇九
 イエティとともに死す 五一〇
 アンナブルナ南壁・冬 五一〇
 スコット魂、いま 五一〇
 頂上の静寂 五一〇
 二十八年前 五一〇
 アンゼンと馬糞 五一〇
 パリのパワフォーマンス 五一〇
 シバラの情熱 五一〇
 アイガーに舞う 五一〇
 女性たちの夏 五一〇
 インドの山旅会議 五一〇
 クックとヒアリー 五一〇
 エベレストのつべんは大にぎわい 五一〇
 1989・1 翔ぶ男 五一〇
 ランタン・リルン合宿山行 五一〇
 オートバイでアコンカグアへ 五一〇
 マツキンリーからまたも帰らず 五一〇
 青春 五一〇
 ツェルマットのガイド問題 五一〇
 ヒマラヤと政治 五一〇
 草原と山 五一〇
 八九年夏の山から 五一〇
 山の名、民族の名 五一〇
 ククチカの死 五一〇
 ヒマラヤのロシア人画家 五一〇
 八十年代の山を考える 五一〇
 国際隊の南極大陸大横断 五一〇
 フォルチェ僧院の再建 五一〇
 タンポチエ僧院の再建 五一〇
 地線から 五一〇
 峠のオポ 五一〇
 遊牧の民のように 五一〇
 一九九〇年・夏山事情 五一〇
 ある救出 五一〇
 女の「ドレーグリー」高雪峰 五一〇
 ローツェ南壁 五一〇
 ビンソン・マシフ 五一〇
 十七人絶望 五一〇
 屈曲部 五一〇

〇J・A・C・登山隊関係

三国合同登山隊定書調印式を終えて 今寿雄 五〇二
 三国合同登山隊一その後の経過 大塚博美 五〇三
 三国合同登山隊事務局だより(第一回総合隊員候補者準備会・事務局長橋本清、今回総合隊員候補者について、実行委員長大塚博美、三国登山のむずかしさ・北側総括登山隊長斎藤淳生、取材体制について、日本テレビ星野敦志、宇宙生中継について、Tレベ隊隊長岩下莞爾、日本山岳会の責任について、北側登山隊長橋本清、第三回総合準備会・事務局局長橋本清、第二回募金委員会・橋本清、三国友好合同登山会募金応募者ご芳名・八月十七日現在) 五〇七
 お知らせ 三国合同登山隊記念テレフォンカード 五〇八・五一一
 三国友好合同登山会募金応募者ご芳名(八月十八日現在) 五〇八
 三国合同登山隊事務局だより(第五回総合準備会、第六回常任募金委員会、第五回実行委員会・事務局局長橋本清、三国友好合同登山会募金応募者ご芳名・十月十七日現在、三国友好合同登山隊隊員リスト) 五〇九
 三国合同登山隊事務局だより(三国友好登山隊準備報告・事務局局長橋本清、三国友好合同登山会募金応募者ご芳名・十一月十七日現在) 五一〇
 三国友好合同登山会募金応募者ご芳名・十二月十四日現在 五一〇
 三国合同登山隊事務局だより(三国友好登山隊準備報告・事務局局長橋本清、三国友好合同登山会募金応募者ご芳名・一月十五日現在) 五一二
 三国友好登山の準備を終えて大塚博美 五一三
 三国登山隊事務局だより(総隊長・隊長会議・湯浅道男、第二回登山委員会・橋本清、三国友好登山隊壮行会、第九回総合準備会、三国友好合同登山会募金応募者ご芳名・二月十五日現在) 五一三
 三国合同登山隊事務局だより(三国友好登山隊「隊員手帳」限定二〇〇部販売、三国友

好合同登山会募金応募者ご芳名・三月十五日現在) 五一四
 三国友好登山隊 北側第一次縦走隊はABCを出发 北側登山隊長 橋本清 五一五
 三国登山隊(南側) 中世古隆司隊員より編集あて(三月十九日 ルクラにて) 五一五
 チョモランマ交差縦走成功(編集) 五一五
 三国合同登山隊事務局だより(三国登山通信、三国友好合同登山会募金応募者ご芳名・四月十五日現在) 五一五
 ヒマラヤ登山 TV実況中継の教えるもの 五一六
 三国友好合同登山会募金応募者ご芳名(五月十五日現在) 五一六
 今西総隊長より編集宛 五一六
 三国友好登山会募金応募者ご芳名・六月十五日現在 五一七
 三国友好登山隊の報告会ひらく 五一七
 三国友好登山会募金応募者ご芳名・七月十五日現在 五一八
 シヴァ峯遠征隊雪上訓練報告二題 五一八
 シヴァ雪上訓練報告一 熊谷とも子 五一九
 富士山雪上訓練報告一 末吉祐子 五一九
 剣岳雪上訓練報告一 岡中恭子 五一九
 三国友好登山隊東京祝賀会 岡沢祐吉 五一九
 三国友好登山・会募金の締切り 湯浅道男 五二〇
 北京祝賀会報告 橋本清 五二〇
 ネパール祝賀会報告 湯浅道男 五二〇
 三国友好登山の課題 山田二郎 五二一
 三国友好登山によせて 見せものサーカス登山はもう沢山! 中村テル編集宛 A生 五二二
 三国登山の美り 田部井淳子 五二三
 通信がとだえて シヴァ峰登山およびトレッキング報告 田部井淳子 五二三
 婦人懇談会 キング報告 黒石恒 五二三
 隊長失格の記 黒石恒 五二三
 クスム・カンダラ峰登山隊壮行会 岡沢祐吉 五二五
 ブラヴァント氏の手紙(凸版) 岡沢祐吉 五二五
 三国登山隊公式報告書の発刊 五二五
 ナムチャバルワ峰偵察隊(第一報) 重廣恒夫 五四〇
 ナムチャバルワ峰偵察隊(第二報) 五四七

図版・写真

「ナムチャバルワ」に統一	重廣恒夫	五〇八
ナムチャバルワ登山実行委員会		五〇九
有志晩餐会色紙二枚	望月達夫	五〇一
松本馨氏の日記	西山秀夫	五〇一
植村直己の墓写真二葉	松田雄一	五〇一
広瀬潔氏のスキー写真	八木健三	五〇二
図版・知床森林伐採予定地	中保	五〇二
日本列島縦断徒歩の旅写真		五〇二
播隆上人筆号軸写真一枚		五〇二
図版・スキー登山中の負傷者の搬送図		五〇四
六二年度通常総会写真二葉	武居台三	五〇五
小杉未醒のビッケル絵二枚		五〇五
吉田博の版画一枚		五〇五
東北地区集会・七時雨山荘写真	佐藤敏彦	五〇五
スイスのヒュッテンプツフのコピー		五〇六
モンブラン初登頂二〇〇年記念切手写真二枚		五〇六
小山・福井コレクション開館式でのテーパーツトの写真	安田平八	五〇六
五家荘久連子の鷹巢山、横岩山の地図		五〇七
ウェストンの家系図	石間信夫	五〇七
木曾・比良山系の地形図		五〇七
パキスタンのトレッキング地図		五〇八
小林・勝田さん出版記念会の写真一葉		五〇九
岩手支部写真(安家森入口にて)		五〇九
浩宮さまご出席の六二年度年次晩餐会の写真		五一一
S・オダレイ山頂にて(写真)	荒木正弘	五一一
ビッケル渡来の写真二葉		五一一
年次晩餐会懇親山行(城山)写真		五一一
熊本支部創立三〇周年記念晩餐会写真		五一一
写真 第二五回木暮碑前祭で挨拶する佐々名誉会員	山村正光	五一三
標識見取図	石坂久忠	五一四
写真・焼山で見た標識	石坂久忠	五一五
九州四支部連絡会写真		五一五
Tシャツデザイン	篠田澄江	五一五
通常総会で三國登山の報告をする大塚副会長		五一五

南側・北側日本隊隊員写真	武居台三	五一七
昭和63年度福岡支部総会写真	平戸孝夫	五一八
H・A・カーター氏写真		五一八
東京祝賀会で鏡開きをする三國の登山隊長たちの写真(読売新聞社提供)		五一九
焼岳(絵)	平沢利夫	五一九
六三年度自然保護委・全国集会写真	小西奎二	五二〇
大雪の集い88写真	中嶋英彦	五二〇
中保さんの出版を祝う会写真		五二〇
親不知のウェストン像写真		五二〇
マッターホルン山頂の脇坂氏(写真)		五二〇
凍結したスنگリ(写真)		五二一
宮崎県南郷村の丸笹山(地図)		五二一
前田製管山岳部月山山頂での写真		五二一
写真・年次晩餐会にて(今西会長、徳仁親王史占春主席)		五二二
横地石太郎の明治一三年、東大理学部メンデ		五二二
ンホール教授星学ノート写真		五二四
チョモランマ登頂時の気象図		五二五
昭和11年5月21日の写真一枚 中村テル		五二五
ドラケンスブルグ山脈と民家の写真	阪本公一	五二六
平成元年度総会写真	原謙一	五二九
写真・横有恒氏の日本山岳会葬	大森弘一郎	五三〇
第三一回有志懇談会寄せ書		五三〇
故岡茂雄氏の写真		五三三
故横有恒氏と色紙の写真	月原俊二	五三三
マッキンリー図版五枚	広瀬 潔	五三四
自然保護全国集会写真	小西奎二	五三四
平成元年度年次晩餐会写真	武居台三	五三五
全国支部懇談会・白髪岳にて(写真)		五三五
熊本支部秋季例会・白髪岳にて(写真)		五三五
福島支部・故古市義孝氏追悼集会の写真五三六		五三七
スパーコロカンスキー競技風景写真		五三七
関西支部五十年史写真		五三七
故秩父宮殿下ご愛用の品々写真五点		五三八
寄贈されたA・C晩餐会のサイン入りメニュー		五三八

1の写真		五三八
シベリアの三角点写真	水野公男	五三九
第十八回山岳史懇談会会場風景写真	伊藤博夫	五四〇
全共連ビルでの総会風景写真 小倉 厚		五四一
エレレストより望見したマカールの写真	大西 宏	五四二
表 標高を変更した山岳一覧		五四二
マカール頂上の大西隊員(写真)		五四二
ANNAPURNA PREMIER 8000s、メイン		五四三
ガストのサインの色紙の写真		五四三
A・Cよりシシャパンマ峰山頂の写真	中島道郎	五四四
A・Cルーム写真二葉	富田健一	五四四
冬期マッキンリーの気象グラフ三枚	中村純二	五四四
第十五回自然保護全国集会写真二枚	田中茂夫	五四五
東九州支部創立三〇周年記念 講演を終わ		五四六
花束を受ける山田会長(写真)		五四六
三水会創立十五周年記念祝賀会写真		五四六
宮崎ウェストン祭風景写真		五四六
平成二年度年次晩餐会々々場風景写真	武居台三	五四七
熊本支部秋季例会写真		五四七
ユングフラウに登る加賀正太郎の写真		五四八
スウイス日記のリングの木の写真二枚と書簡	久合田弘	五四九
故初見一雄氏(写真)		五四九
シンポジウムが開催された青山学院大学の会		五四九
場(写真)		五四九
上高地山研 地下一階、二階の各平面	山研改築委員会	五四九
図 ナイロンザイル関係の表と図版各一枚	大島輝夫	五五〇

二、五三三、五三八、五四六、五四九		
訂正(山岳含む) 五〇〇、五〇一、五〇五		
五一、五一二、五一五、五一九、五二〇、五		
二二、五二八、五三〇、五三二、五三三、五三		
七、五四二、五四三、五四四、五四五、五四七		
五四八		
お願い 図書紹介執筆者を募る	松永敏郎	五二六
アフリカ横断旅行隊員を募る		五三〇
90 American Japanese Arctic Mountaineer-		五三五
ing Expedition		五三五
編集者		
五〇一〜五二八号	岡 沢 祐 吉	
五二九〜五五〇号	小 倉 厚	
あとがき		
目録作成の難かしきは分類項目にあり		
ます。紙幅の関係で一文を一項目として		
いるので、文章によっては多岐にまたが		
るものもあり、どの項目に入れるか大い		
に頭を悩ました。しかし、どちらかに割		
切っていますが、頭の中ではないまま割切		
れないものもっています。利用に際し		
てはそれらしい項目に二、三当っていた		
だければと思います。		
松田雄一、高田真哉の両氏に校正の労		
をとっていただきました。編者としてこ		
こに心から感謝致します。(小倉 厚)		
平成三年四月二十日発行		
102 東京都千代田区四番町五一四		
サンビュウハイツ四番町		
発行所 社団法人 日本山岳会		
発行者 山田 二郎		
編集代表 小 倉 厚		
電話東京(326) 四四三三		
振替口座東京三〇四七九番		
東京都荒川区西日暮里一六二一八		
印刷所 富士美術印刷株式会社		

次代に残そう美しい山と溪